



メデルホームつうしん

2020. 冬号

暖かさ本物、手づくりの家。

一般土木建築設計施工
一級建築士事務所
EBINA メデル 蝦名 建築株式会社

●新築・増築・改修工事 ●小さな改修 ●外構工事、その他
〒063-0850 札幌市西区八軒10条西13丁目1-35
TEL: (011) 621-6289 FAX: (011) 641-6263

《大工・協力業者不足》

2020年も明けてはや一ヶ月たちました。

2020年1月号の「北海道住宅新聞」アンケートで、人手不足に悩む会社が64%と回答しています。特に大工は71%職人不足を顕著に表しています。昨年「お仕事セミナー」で20～30代の若い方を対象とした講演をさせて頂きましたが、業界全体では人手不足が深刻な状況にあります。バブル期に約900万人近くいた建設労働者が現在半分に減少しています。

住宅各社は「施工の標準化」「規格住宅」「建売販売」など様々な工夫を駆使しています。

当社は新築のみならず、リフォーム・営繕にも重点を置き、先々代からの会社理念「お客様の困りごと解決」「地域に貢献できる建築屋」を引き継ぎながら現在に至っており、10年かかりましたが1名の大工が一人前に育ってくれました。あと2名の卵が毎日頑張っております。モノ造り・職人技に興味がある若者を紹介して頂けたらありがたいです。

住宅取得層である30代前後から40代の年収は上がっておらず、消費税の増税も追い打ちを掛けています。企業を取り巻く不安材料は沢山ありますが、当社の原点を見失しなわず一年一年を積み上げていきたいと思ひます。

昨年から年賀状の廃止をいたしました。年初めの「メデルホームつうしん」にて新年のご挨拶に代えさせて頂きます。

本年もよろしくお願い致します。

代表取締役社長 蝦名 大典

《7090時代》

「8020=80歳で20本の歯を・・・」と言うキャッチコピーがありますが、今や「7090=70歳代の子が90歳代の親を介護する」「7050=70歳代の親が50歳代の子を養う」大変な時代を迎えました。長寿大国日本の深刻な問題です。

父とは5年、母とは17年間同居をしました。母が認知症発症（徘徊多動性）から5年同居後私の病氣治療の為、嫌がりましたがなんとか施設に入居してもらいました。

今年で母は95歳、私は70歳になります。母は閉鎖的な性格でなかなか施設に溶け込めず、毎年12月の年取りに家に来た際には「家に戻りたい」と何年か言い続けていました。毎週火曜日は自宅で過ごすのですが、現在異食行動（紙を食べる）が始まり、母が来る日は目離し出来ません。

母は母で我が家の自由な生活から規則・規制のある生活でストレスが溜まっての事と思われるのですが、半年サイクルで母の体に異変が起こり、私は都度対応に追われています。

その矢先、我が家の車庫で転倒！手首の複雑骨折で現在治療中です。高齢の為手術はせずギブスで固めるそうです。母は「イタイイタイ、死んだ方がマシだ。殺してくれ！」とわめいて私達を困らせています。どうして良いのか途方に暮れる事しばしばですが、施設の方に相談しながらなんとか乗りきっています。

日本は北欧福祉国家のように障害を持っても、高齢・認知症になっても安心して過ごせる国ではありません。

70歳の私が90歳の時にはどんな世の中になっているのでしょうか???

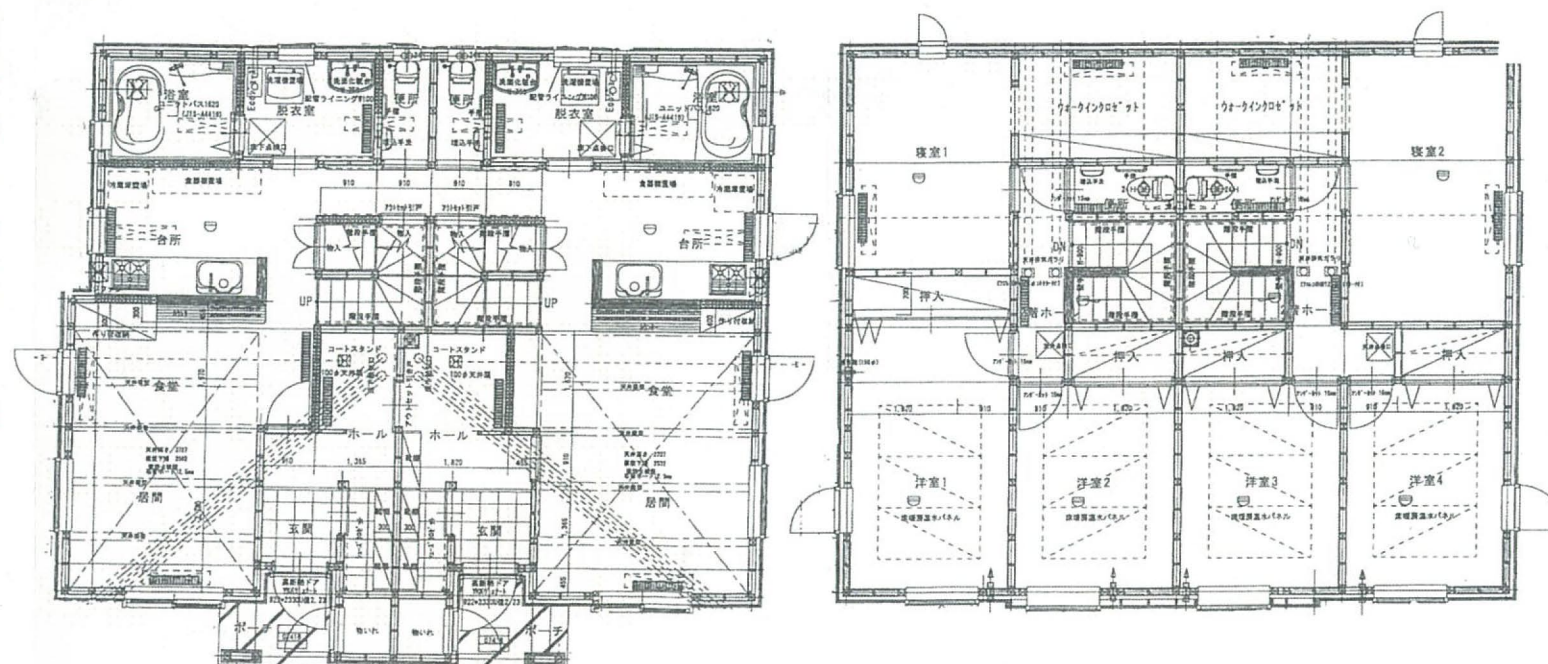
蝦名 由紀子

《お客様紹介》

2019年、中央区にパッシブ換気工法にて建築されたお客様です。
横に二世帯の住宅です。

1F

2F



★パッシブ換気住宅とは

常に新鮮な外気を床下に取り組み、床下に設置した暖房機器により暖められた空気が開口部を通して上昇し、室内空間を隈なく対流させます。

機械に頼らずに建物自体が呼吸して、常に健康で快適な室内環境が持続します。

また、木造住宅最大の欠点である床下の腐朽・劣化を防ぎます。

しかも建材等から発生する、化学物質や微生物汚染を排除しますので、実に快適で健康的な住環境を実現する工法です。

当社ホームページもご覧になって下さい

www.medel-ebina.net

